

# 人輝く。

**小田 稜矢 くん**  
(6年生)

まさか400チ一ムの中から優賞をもらうと思っていなかったの嬉しさと、笑顔がよくなったことが、受賞につながったと思います。

**戸田 伊吹 さん**  
(6年生)

みんなの動きが一つにそろって、心も一つになれたとき、ラジオ体操の楽しさを最後まで練習をやりきったから、受賞できたのだと思います。

**石田 結衣 さん**  
(5年生)

楽しく動くことが、ラジオ体操がうまくできるといにつながるとい思います。みんなと一緒にすると楽しいです。

**増岡 悠亮 くん**  
(6年生)

みんなの前に立ってラジオ体操を始める前の体動きの向きに注意したり、肘(ひじ)を伸ばすことを意識したりしています。みんなの力が合わさって特別賞がもらえたので、嬉しいです。

**徳清 千恵子 先生**  
郷野小 賞を受賞の知

「夏休み前の忙しい時期での練習、撮影、投稿でした。全国のレベルがわからないまま、無謀とも思える挑戦でしたが、子どもたちに感動を与えられたことが大きな喜びです。結果は美土里小が1級ラジオリーンピースが優秀賞、郷野小が特別賞を受賞しました。徳清先生は、50代になってからラジオ体操指導士になられたのですが、人生の後半でこのような素晴らしい経験ができるのは素晴らしいことだと思います。誰かが知っているラジオ体操で、こんなに多くのお会いと、幸せが待っているとは、想像できません。ラジオ体操指導士としての喜び、人々が喜ぶようになることが、私が本当に望んでいました。健康を基本として、人々の健康を増進するラジオ体操。徳清先生は、やりがいを感じながら、たくさんの方々の健康に多大な貢献をされています。」

**品川 先生** (お話し)

ラジオ体操コンクールに出場にあたり、大休憩・昼休憩・放課後の時間を使って、約1か月間ほぼ毎日練習しました。練習では、教員が子どもたちの動きを見たり子どもたち同士で見合ったりして、少しずつ修正しました。また、子どもたちの動きをビデオ撮影して、それをみんなで見て改善点を話し合いました。美土里小では、運動会前や徳清先生に指導に来ていただいたときを中心に、ラジオ体操を行っています。子どもたちの笑顔と、動きがよく揃っていたところを、評価していただけたのだと思います。

**野原 先生** (お話し)

校では、平成17年から本格的にラジオ体操に取り組みはじめました。当時の校長先生が、振興会主催の「ラジオ体操朝の集い」で講師を務めておられた徳清先生の体操の美しさに感動したことをきっかけに、郷野小のラジオ体操の講師を依頼されました。郷野小では、2時間目と3時間目の間の業間時間(10分間)にラジオ体操をするな

**1級ラジオ体操指導士 徳清 千恵子 先生**

「私の小学校でのラジオ体操指導は、教育委員会からの支援助と、市内全13小学校の協力があるからすることができています。そして、実際に学校に行くと、子どもたちが本心に素直に、楽しく私の指導を受け入れてくれました。この中の1つでも欠けていたら、今回のラジオ体操コンクールで入賞することはできなかったと思います。」

そう語るのには、現在市内の小学校でラジオ体操指導士にされている徳清千恵子先生(65)が、1級ラジオ体操指導士の資格を持っており、中国地方を中心にラジオ体操を各地で指導されています。

「夏休み前の忙しい時期での練習、撮影、投稿でした。全国のレベルがわからないまま、無謀とも思える挑戦でしたが、子どもたちに感動を与えられたことが大きな喜びです。結果は美土里小が1級ラジオリーンピースが優秀賞、郷野小が特別賞を受賞しました。徳清先生は、50代になってからラジオ体操指導士になられたのですが、人生の後半でこのような素晴らしい経験ができるのは素晴らしいことだと思います。誰かが知っているラジオ体操で、こんなに多くのお会いと、幸せが待っているとは、想像できません。ラジオ体操指導士としての喜び、人々が喜ぶようになることが、私が本当に望んでいました。健康を基本として、人々の健康を増進するラジオ体操。徳清先生は、やりがいを感じながら、たくさんの方々の健康に多大な貢献をされています。」

**美土里小学校「美土里グリーンピース」**

大下菜々美、増田和沙、増田梨花、岩口怜依、小丸優月、中迫吹衣、川手舞香、増田風紗、小田稜矢、角田遙、茅野柊華、桑原菜美、佐々木健、世羅花音、戸田伊吹

**郷野小学校**

芝生校庭でのラジオ体操

**ラジオ体操でたくさんの方々の幸せを感じています**

「私の小学校でのラジオ体操指導は、教育委員会からの支援助と、市内全13小学校の協力があるからすることができています。そして、実際に学校に行くと、子どもたちが本心に素直に、楽しく私の指導を受け入れてくれました。この中の1つでも欠けていたら、今回のラジオ体操コンクールで入賞することはできなかったと思います。」

そう語るのには、現在市内の小学校でラジオ体操指導士にされている徳清千恵子先生(65)が、1級ラジオ体操指導士の資格を持っており、中国地方を中心にラジオ体操を各地で指導されています。

## 第1回 全国小学校ラジオ体操コンクール 「美土里グリーンピース」が優秀賞、郷野小が特別賞を受賞

全国各地の小学校から400チームを超える応募があった「第1回全国小学校ラジオ体操コンクール」。この大会は、各チームのラジオ体操を撮影したビデオを送り、それを審査するという方法で開催されました。美土里小児童で結成した「美土里グリーンピース」が優秀賞、郷野小は日頃のラジオ体操への取組が評価され「郷野小学校」として特別賞を受賞しました。

## 民生委員・児童委員、安芸高田市生活指導員に委嘱されました。

民生委員・児童委員、安芸高田市生活指導員 (任期：平成28年11月30日まで)

・佐々木 忠則さん (担当地区：美土里町 中北日南下、上郷、下郷、九文久)

・宮本 克巳さん (担当地区：甲田町 下市、中市、湧永住宅、本町、上市、紅葉ヶ丘住宅、甲田町住宅)

民生委員児童委員はあなたの相談相手です

## コンテスト入賞 おめでとうございます



**第39回「みどりの絵コンクール」**  
(応募総数24,718点)  
「みどりの絵部門」最優秀賞  
(三菱UFJ環境財団理事長賞)  
作品名：「わが家の野菜」  
来原小学校 5年生  
黒田 祥平 くん



**第10回「アイテム写真コンテスト『はたらくすがた』**  
(応募総数7,459点)  
「富士フィルム特別賞」  
作品名：「仕事、終わりの笑顔」  
根野小学校 6年生  
末次 颯 くん



**もう一人娘ができたような気がしています**  
光永 武弘さん、時子さん (吉田町)

「手紙の最初には、いつも「広島のお父さん、お母さんへ」と書いてあります。ひろしま国体から18年経った今もそうやって私たちのことを呼んで手紙を書いてくれることを、とても嬉しく思っています。」

そう語るのには、平成8年に開催されたひろしま国体で旧吉田町がバレーボールチームの民泊を行った際、受け入れをした光永 武弘さん(74)と妻の時子さん(74)。光永さん夫妻の住む常友では大阪の代表チームを受け入れ、光永さん宅へは四人が泊まりに来たそうです。そして、その四人の中の一人、江里(旧姓：森安)千恵さんと、今でも手紙のやり取りをしておられます。

当時、武弘さんは少年団のバレーチームを指導していたこともあり、大阪のチームの



応援団長を務め、時子さんも太鼓を叩いて応援したそうです。しかし、大阪の代表チームは、その大会で優勝した山口のチームと一回戦目で当たり、敗退してしまいました。「滞在した期間は泊3日という短い間でしたが、千恵さんは今でもこうやって手紙を送ってくれたり、電話をしたりしています。先日もらった手紙には、子どもが生まれたいということが書いてあって、一緒に送られてきた千恵さんと旦那さんと子どもが写っている写真をリビングに飾っています。私には娘が二人います。もう一人娘ができ、孫が生まれたように思っています」と時子さん。

また、武弘さんは、民泊が地域の絆を深めた、と感じているそうです。「民泊をする



千恵さんから送られた手紙や写真